

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県空港スポーツ緑地 都市計画課

2 施設所在地
富山市秋ヶ島

3 施設設置年度
昭和62 年度

4 設置目的
航空機の離発着の騒音を緩和するとともに、県民誰もがスポーツや様々なレクリエーションを楽しめることを目的として、昭和62年に開園した緩衝緑地

5 施設概要
敷地面積：13.2ha
主な施設
・陸上競技場：16,746㎡ 400mトラック 8 コース、インフィールド芝生舗装
・テニスコート：砂入り人工芝コート 6 面
・インクルーシブひろば：3,100㎡ 遊具 7 基
・展望広場、芝生広場等

6 指定管理者
株式会社野上緑化

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
68,332	82,759	87,461	90,469	98,603

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R3	R4	R5	R6	R7
3,455	4,204	4,242	4,666	5,016

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R3	R4	R5	R6	R7
4,202	4,202	4,202	4,202	4,212

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は令和6年度比109.0% (8,134人増)、利用料金収入は令和6年度比107.5% (351千円増)であった。
・インクルーシブひろばの利用が好調であり、またテニスコートの利用増加により、全体の利用者数が増加した。テニスコートは、平日夜間の利用が増加しており、この時間帯の稼働率が51.7% (令和6年度比10%増)であった。またポイントカードやネット予約、QRコード決済の取り組みも令和6年度より利用率が上がっている。

(2) サービス向上に向けた取組み

・利用者のニーズに合わせて、供用日の追加、供用時間の延長を行った。
・展望広場に回転式遊具を設置し、子どもの遊び場を提供した。
・氷菓や冷凍飲料の販売、ミスト発生機の設置を行い、夏期の利便性向上を図った。
・積雪時にはソリ遊び場を設置し、冬期の利用促進を図った。
・令和7年度より、富山市立新保小学校と連携し、インクルーシブひろばの増設遊具や利用促進等を検討する授業を実施した。「みんなが使いやすいインクルーシブ会議」委員の協力を受け、児童の福祉教育や産学官民の連携に繋がった。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・有料公園施設の利用料金徴収にキャッシュレス決済を導入している。
・有料公園施設のウェブ予約を運用し、予約の簡易化、リアルタイムな空き状況の確認による利用促進を図った。
・テニスコートのポイントカードを配布し、リピーターの確保に努めている。平日17時までの利用又はとやま子育て応援団マークの提示で、ポイント2倍とした。
・陸上競技場インフィールドの芝の通年緑化に取組み、サッカー等の利用期間を延長した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	①公園利用者モニター(3月) ②イベント参加者アンケート(5月～11月)
回答者数	①41名 ②41名
結果	①公園を利用したの評価:満足(66%)、やや満足(34%) ベンチの数を増やしてほしいとの要望があった。 ②インクルーシブDAYにおいて、障害児の保護者から見守りスタッフが心強いとの評価を得た。 ②インクルーシブDAYにおいて、定期的なイベントの実施、回数増、遊びの充実を求める意見があった。
結果を踏まえた改善事項	令和8年度のインクルーシブDAYを4回から6回に回数を増やし、雨天日は中止ではなく順延することを決定した。また輪投げや取っ手付きバランスボール等を導入することで遊びの充実を図った。

② その他利用者の声を反映させる取組み

・地域住民、利用団体、協働団体の代表者及び富山県総合体育センター指定管理者による運営評価会議を開催した。
・管理センター窓口にアンケートフォームのQRコードを掲示している。

③ 主な苦情と対応

苦情はなし

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報に関するプライバシーポリシーを定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・地域の低額有償ボランティア団体に花壇(プランター)の植替え作業をお願いした。
・障害者就労継続支援事業所、障害者就労移行支援事業所と協働し、公園維持管理作業を通じた自立支援活動や就労訓練を実施した。また、障害者就労移行支援事業所が運営する就労継続支援事業所にトイレ清掃を委託し、就労の場を提供した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルの作成、夜間パトロール、強風大雨後の臨時パトロールなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・インクルーシブひろばの利用促進や施設の周知を図るため、「インクルーシブDAY」を開催し、多様な子どもたちが安心して利用しやすい環境づくりを進めている。
・富山市立新保小学校と連携し、「新保の誇り～インクルーシブひろばchangeプロジェクト～」を進め、新設遊具の選定やチラシ・看板作成を行った。令和8年度の新設遊具完成を見据え、今後もインクルーシブひろばの利用促進を期待したい。
・今後もアンケート調査などを通じて利用者ニーズの的確な把握を継続するとともに、日常的な維持管理や各種イベントでの利用機会増加を図るなど、サービス向上に努めてもらいたい。